

# 株式会社ラクーン

2012年4月期第2四半期

決算説明資料

(2011年5月～2011年10月)

証券コード 3031 / 東証マザーズ

当資料に記載されている意見や予測は、当資料作成時点における当社の判断に基づき作成されております。様々な状況や環境の変化により実際の判断や結果が異なる可能性があります。

# 2012年4月期第2四半期について

## 連結業績

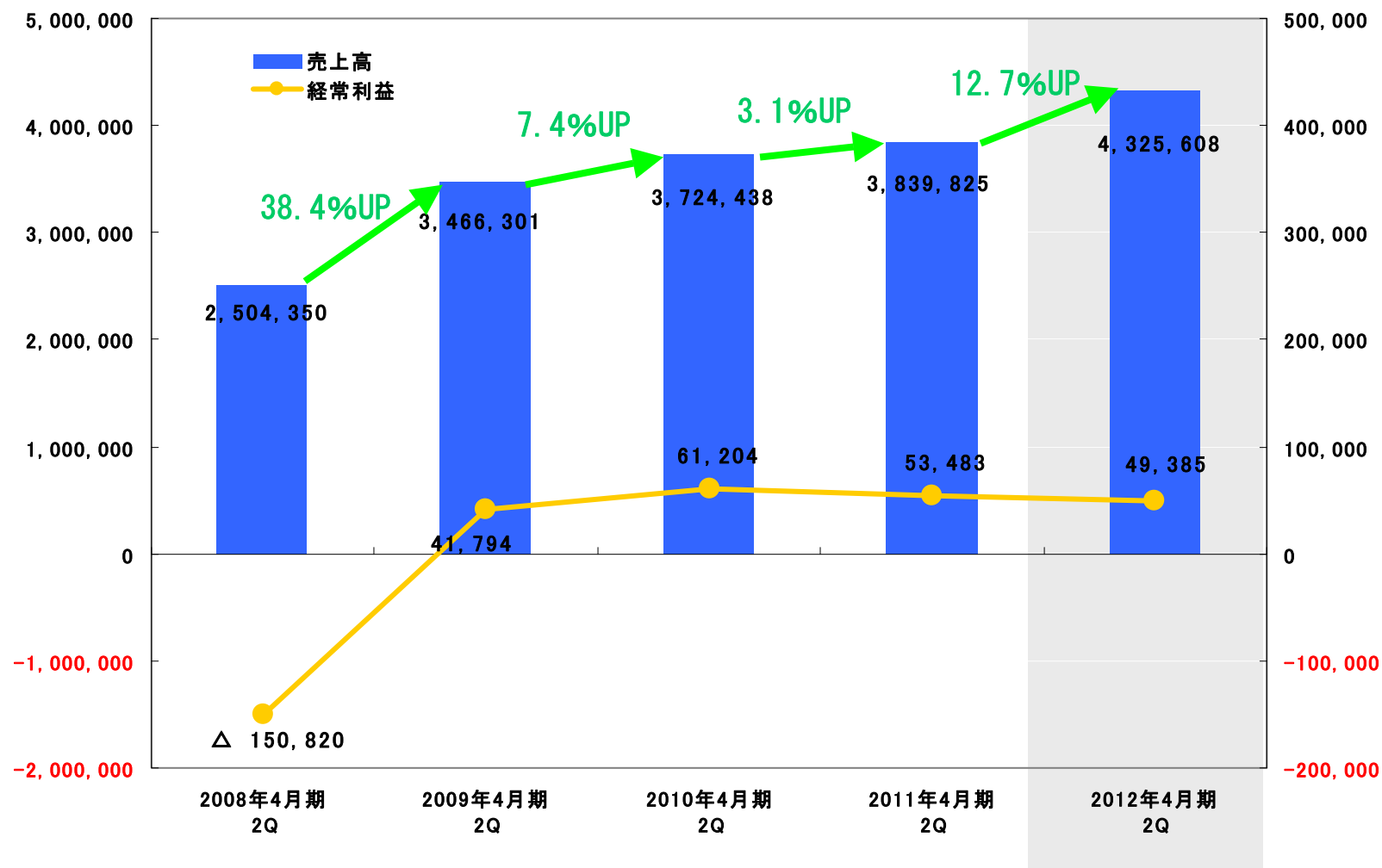
売上高	4,325,608千円	(前年同期比12.7%増加)
営業利益	53,414千円	(前年同期比 3.0%減少)
経常利益	49,385千円	(前年同期比 7.7%減少)
四半期純利益	33,919千円	(前年同期比31.4%減少)

- 売上成長率が上昇傾向（前期 3.1% →当期 12.7%）
  - － EC事業「SUPER DELIVERY」の売上高が堅調。全体の売上高を牽引。
  - － 一方で利益は減少。新規事業「Paid」への投資コスト発生により抑制。（下掲参照）
- 新規事業「Paid」を2011年10月24日よりサービス開始。
  - － サービス開始前に発生した費用として人件費や広告費を約26,000千円計上。  
（うち、約12,000千円が広告費等、一時的費用）  
システム開発により、37,928千円をソフトウェアとして資産計上。
- その他の費用については堅調に推移。

# 売上高・経常利益推移

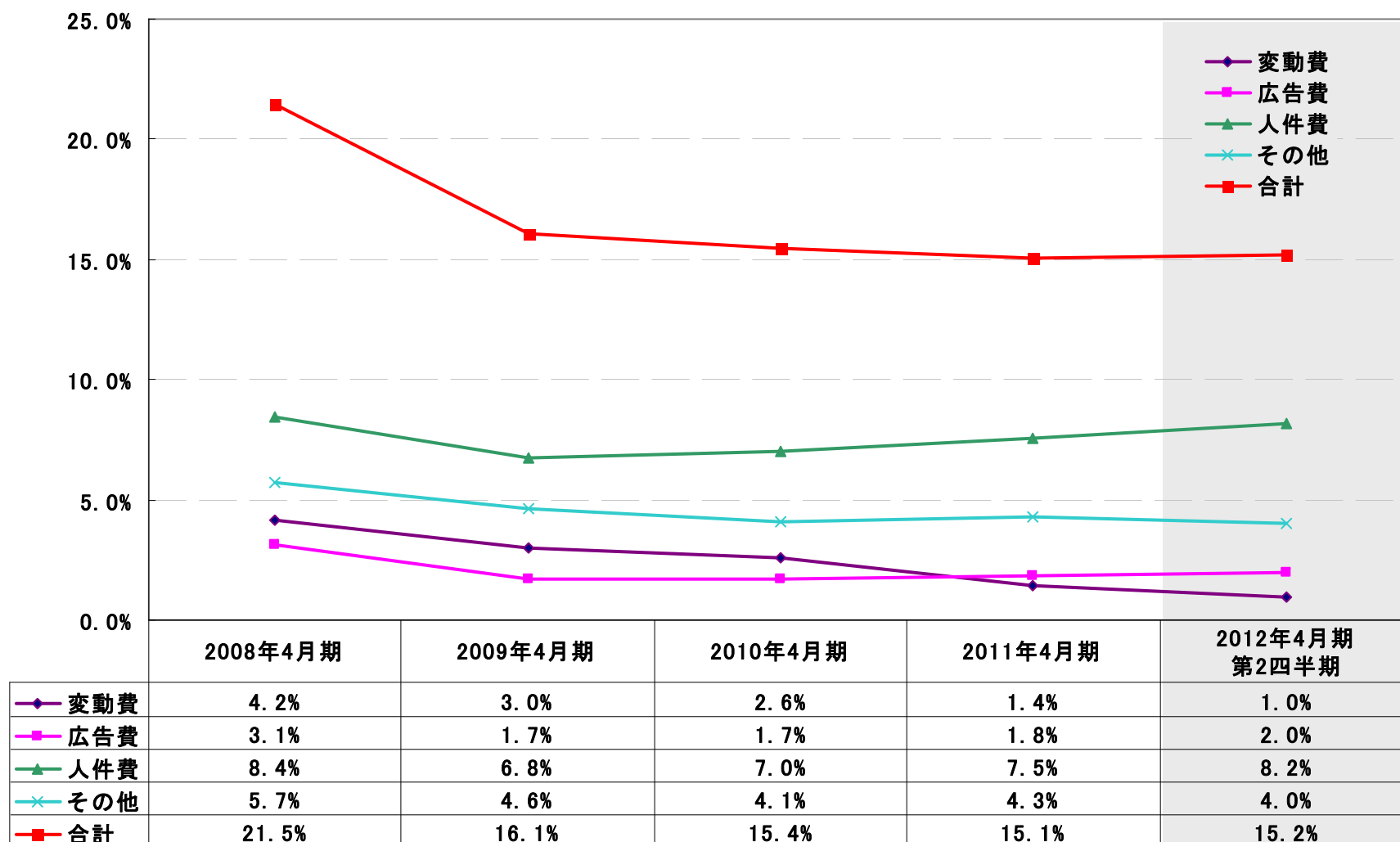
売上高 単位：千円

経常利益 単位：千円



※2011年4月期第3四半期より連結に移行したため、2011年4月期より連結数値、それ以前は個別数値となっております。

# 販売費及び一般管理費の売上比率



※2011年4月期第3四半期より連結に移行したため、2011年4月期より連結数値、それ以前は個別数値となっております。

- 新規事業Paidへの先行投資により人件費の対売上比率が上昇。
- トラスト&グロースの子会社化により売掛債権の保証料が内部コストとなり変動費の対売上比率が減少。

# 貸借対照表サマリー

単位：千円

	2012年4月期 第2四半期	対前年期末 増減比	2011年4月期
流動資産	2,200,009	-5.4%	2,325,652
固定資産	346,670	+4.2%	332,576
流動負債	1,080,166	-5.8%	1,146,322
固定負債	315,443	-17.0%	379,941
純資産	1,151,070	+1.7%	1,131,964
総資産	2,546,679	-4.2%	2,658,228

流動資産・・・売上高の増加に伴い売掛金が増加。一方で短期借入金の返済等により現金及び預金が減少

固定資産・・・ソフトウェアとソフトウェア仮勘定が17,937千円増加

固定負債・・・長期借入金の減少

純資産・・・四半期純利益の計上により利益剰余金が増加。

# 2012年4月期第2四半期・・・セグメント別概要

## EC事業

売上高	4,239,311千円（前年同期比10.4%増加）
セグメント利益	36,734千円

- 前期に引き上げた審査基準の継続適用により、質の高い「会員小売店」及び「出展企業」の獲得に取り組む

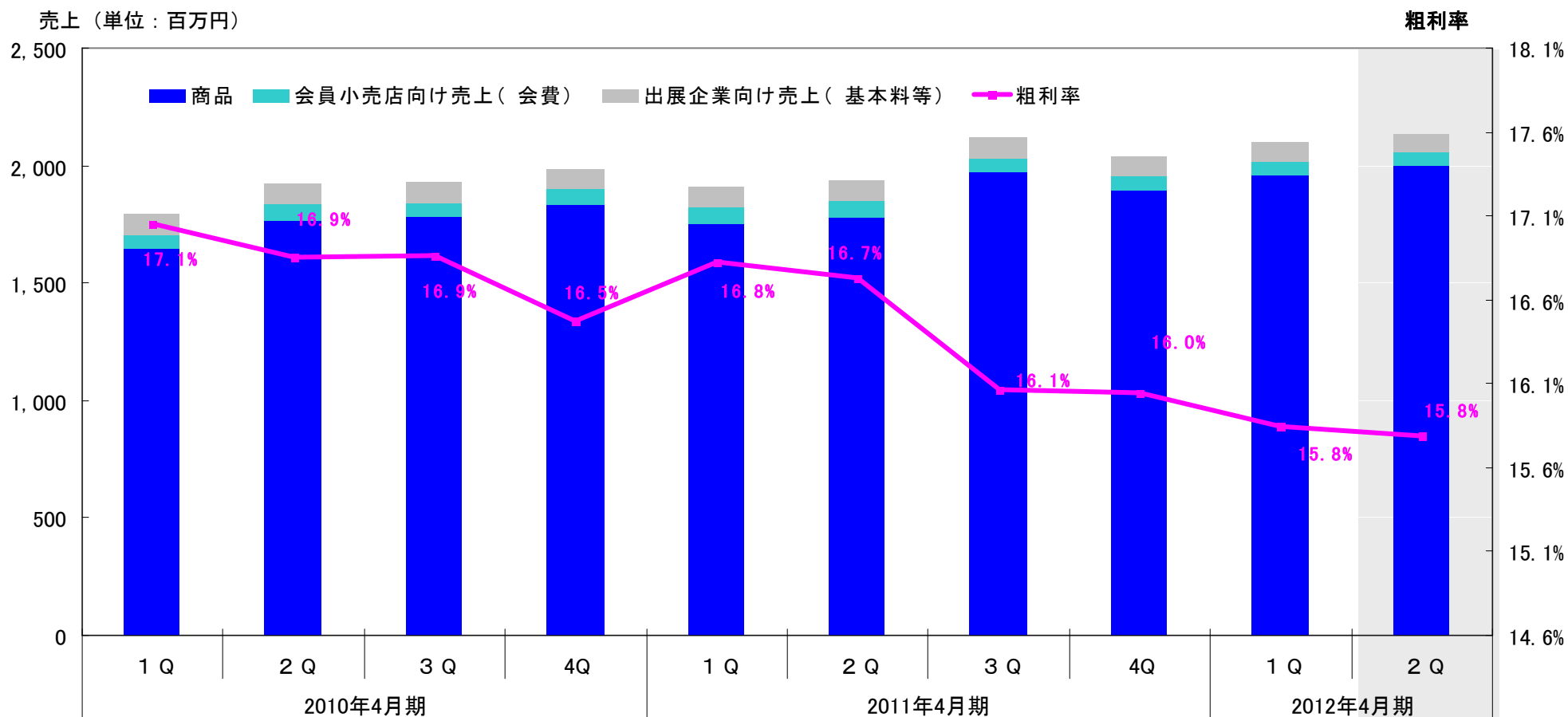
- ・ 出展企業・・・総数は減少したものの、新規は堅調に獲得  
→魅力的な商品の掲載が確実に増加
- ・ 会員小売店・・・広告の見直しやSEO対策により登録数は緩やかながらも上昇基調  
→会員小売店数の増加

獲得した会員小売店に対し、ターゲット別に細かく再分類し、ニーズにあったサービス提供を実施  
→ 月間の客単価の増加

## 商品売上高の増加

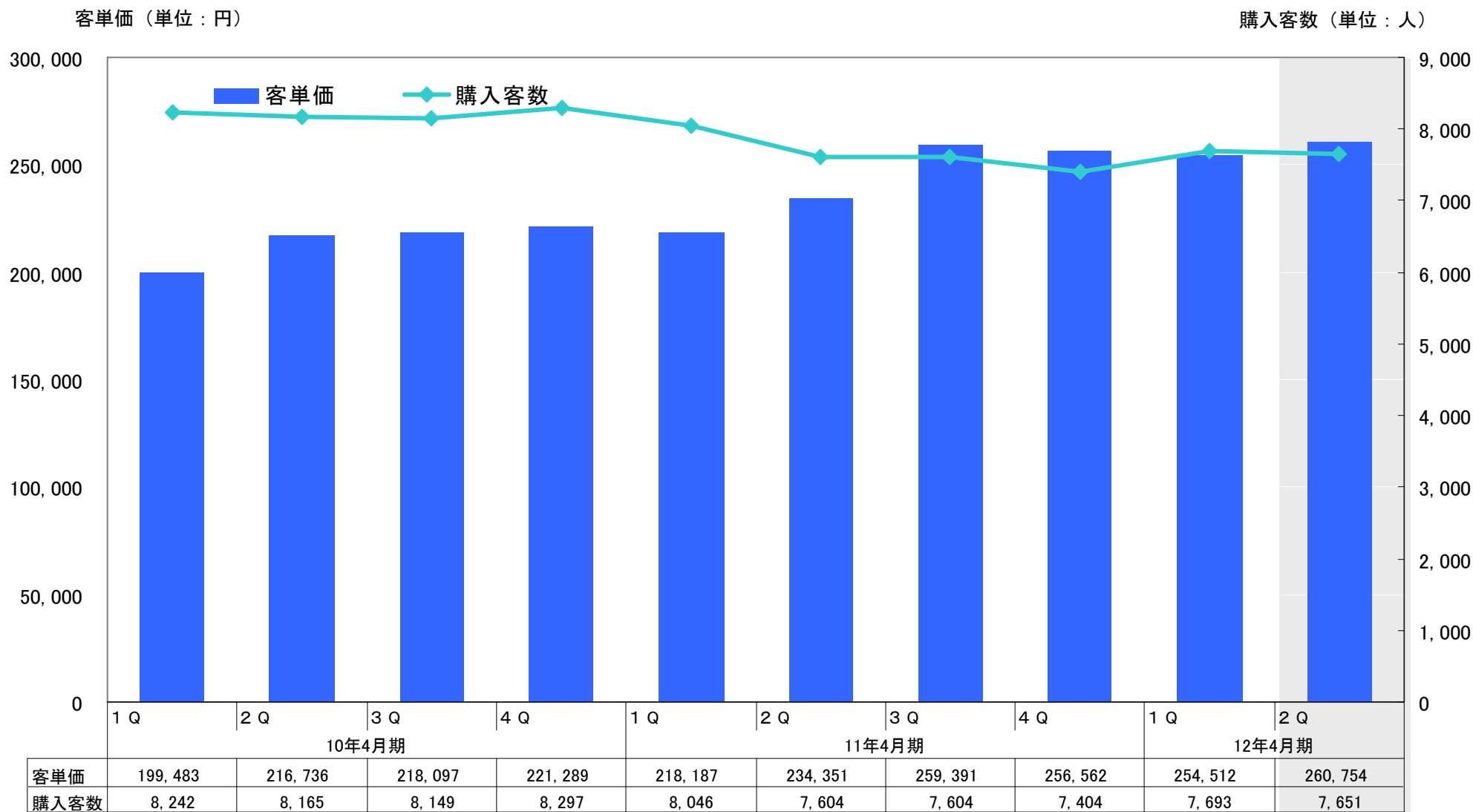


# 『EC事業』スーパーデリバリー売上高推移



	2010年1Q	2010年2Q	2010年3Q	2010年4Q	2011年1Q	2011年2Q	2011年3Q	2011年4Q	2012年1Q	2012年2Q
商品	1,644	1,770	1,777	1,836	1,756	1,782	1,972	1,898	1,958	1,995
会員小売店向け売上	61	62	64	64	65	64	62	61	60	60
出展企業向け売上	85	89	91	86	87	87	87	81	80	80
その他売上								0	2	4
TOTAL	1,790	1,921	1,932	1,986	1,907	1,933	2,121	2,041	2,100	2,139

# 『EC事業』スーパーデリバリー購入客数と客単価推移

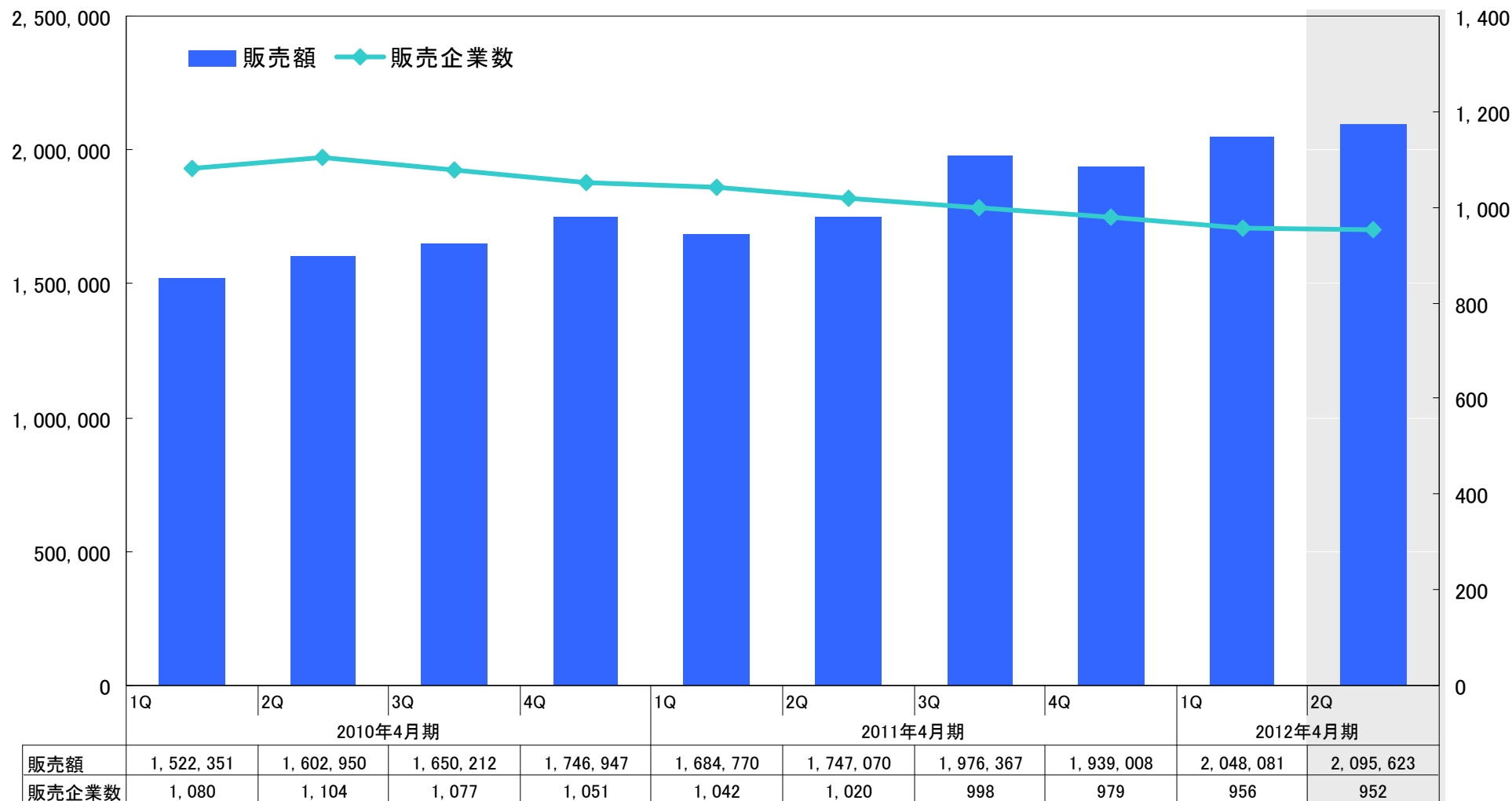


● 諸施策の効果により、客単価が継続的に上昇傾向。

# 『EC事業』 スーパーデリバリー販売企業数と販売額推移 ra((oon

販売額（単位：円）

販売企業数（単位：社）



● 総数は減少するも、魅力的な商品の掲載により販売額は上昇。

売掛債権保証事業

売上高	133,731千円
セグメント利益	10,001千円

● 営業力の強化

- ・ 人員増加の他にリスティング広告やSEO対策の実施  
→ホームページからの申し込み増加を図る。

● あいおいニッセイ同和損害保険会社と再保証の保険契約を締結

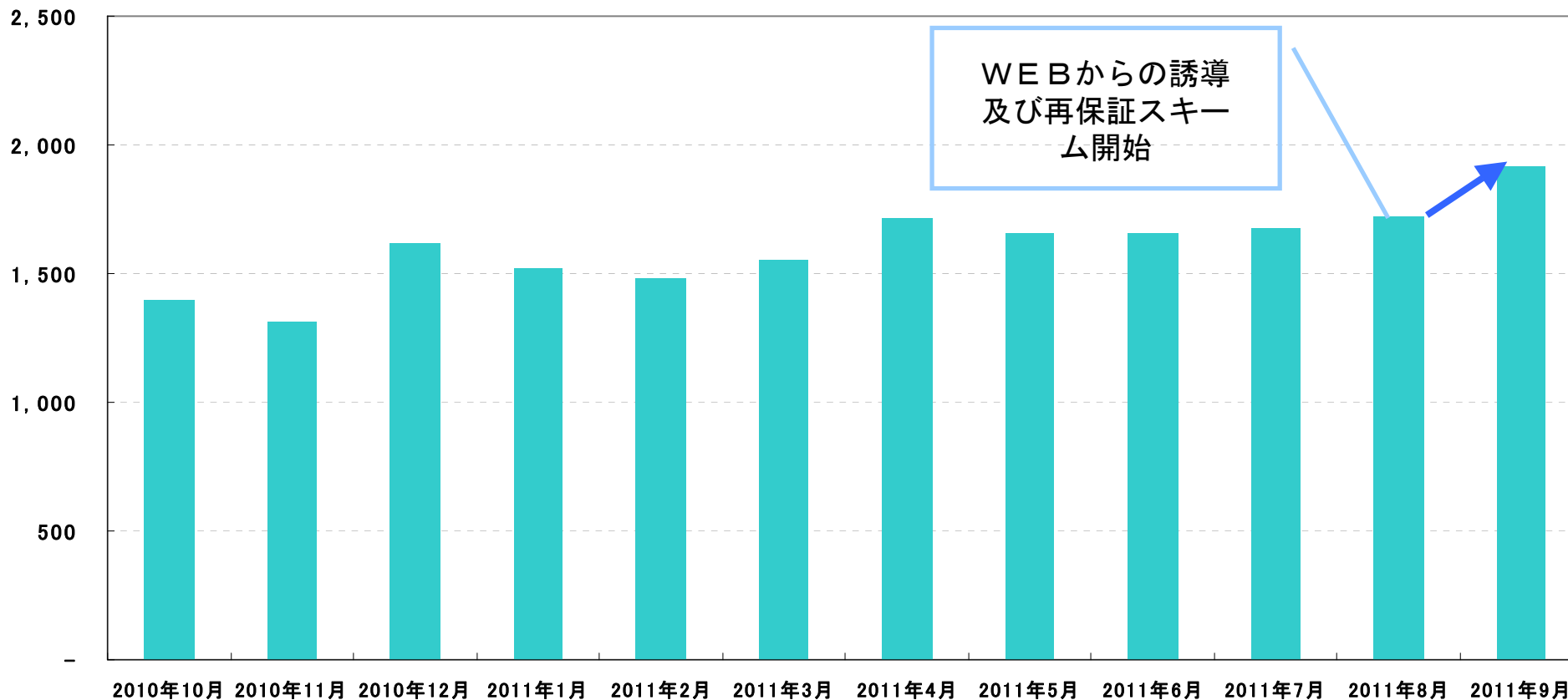
- 再保証の活用により、リスクを抑えつつ、引き受ける保証金額の大幅な引き上げを可能に。

保証残高の大幅な増加

- 保証残高増加の売上への本格的な貢献は第3四半期以降。
- 保証残高の大幅増加により、保証履行引当金繰入額の大幅増加となり利益を圧迫
  - →保証履行引当金繰入額は保証残高の増減に連動。  
売上計上に先行して計上される特性により第2四半期については利益を圧迫する要因に。

# 『売掛債権保証事業』 ・ ・ ・ 保証残高推移

単位：千円

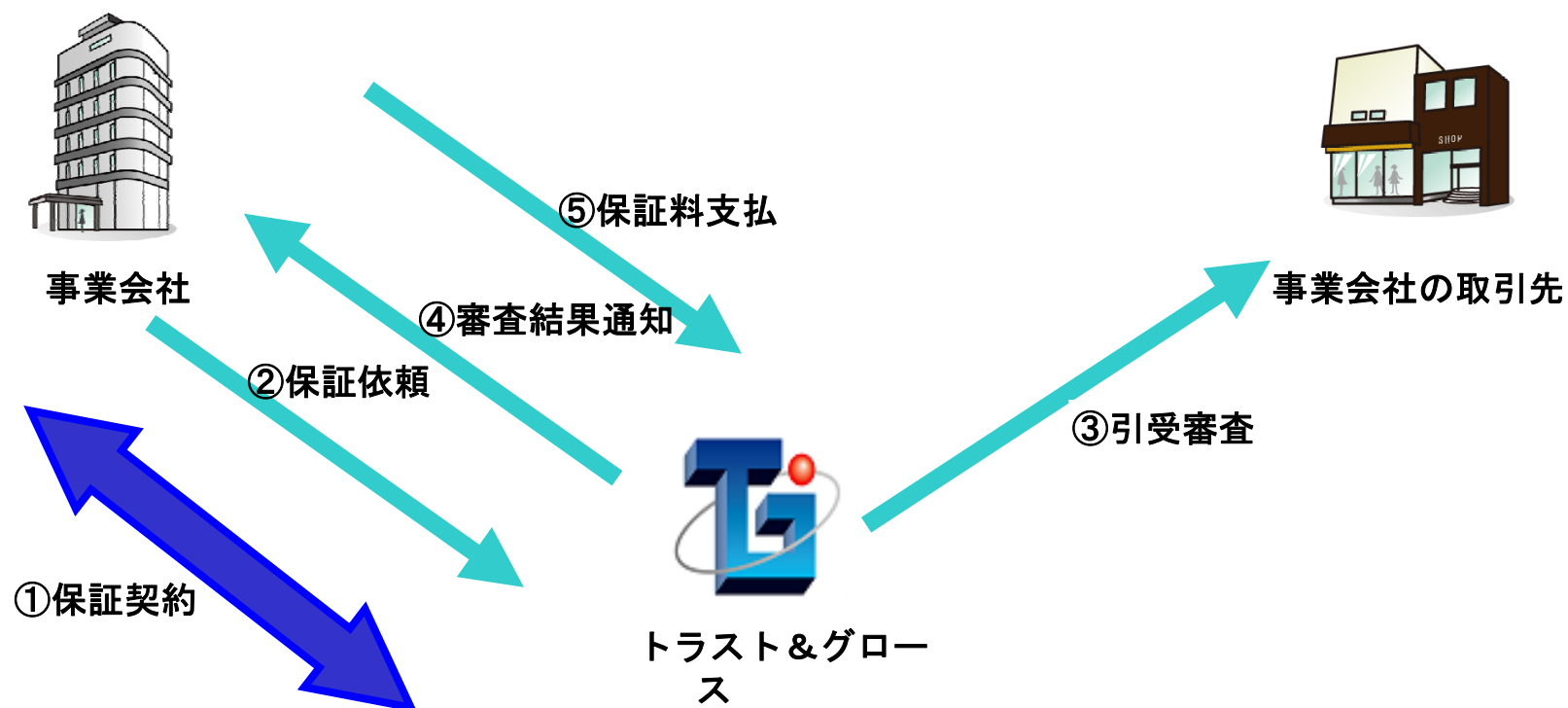


※2010年11月30日付けで、子会社化したことに伴い2010年12月の数値より連結決算に取り込んでいます。

●営業力の強化及び再保証の活用による効果により、保証残高が大幅に上昇。

# 『売掛債権保証事業』（参考）ビジネスモデル①

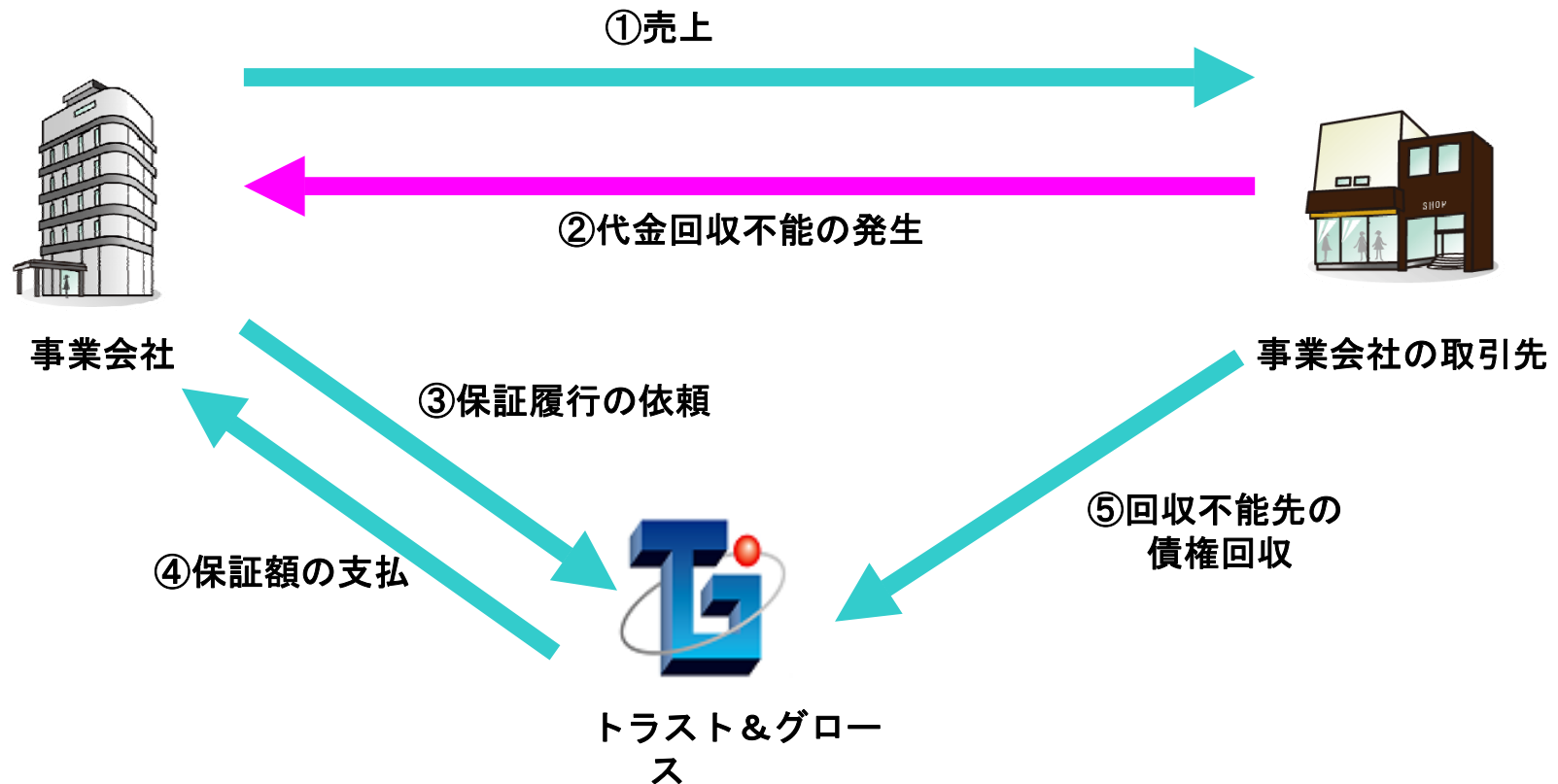
売掛債権保証とは売掛債権を保証し、万が一取引先が支払不能になった場合に、あらかじめ設定した保証金額をお支払いするサービスです。



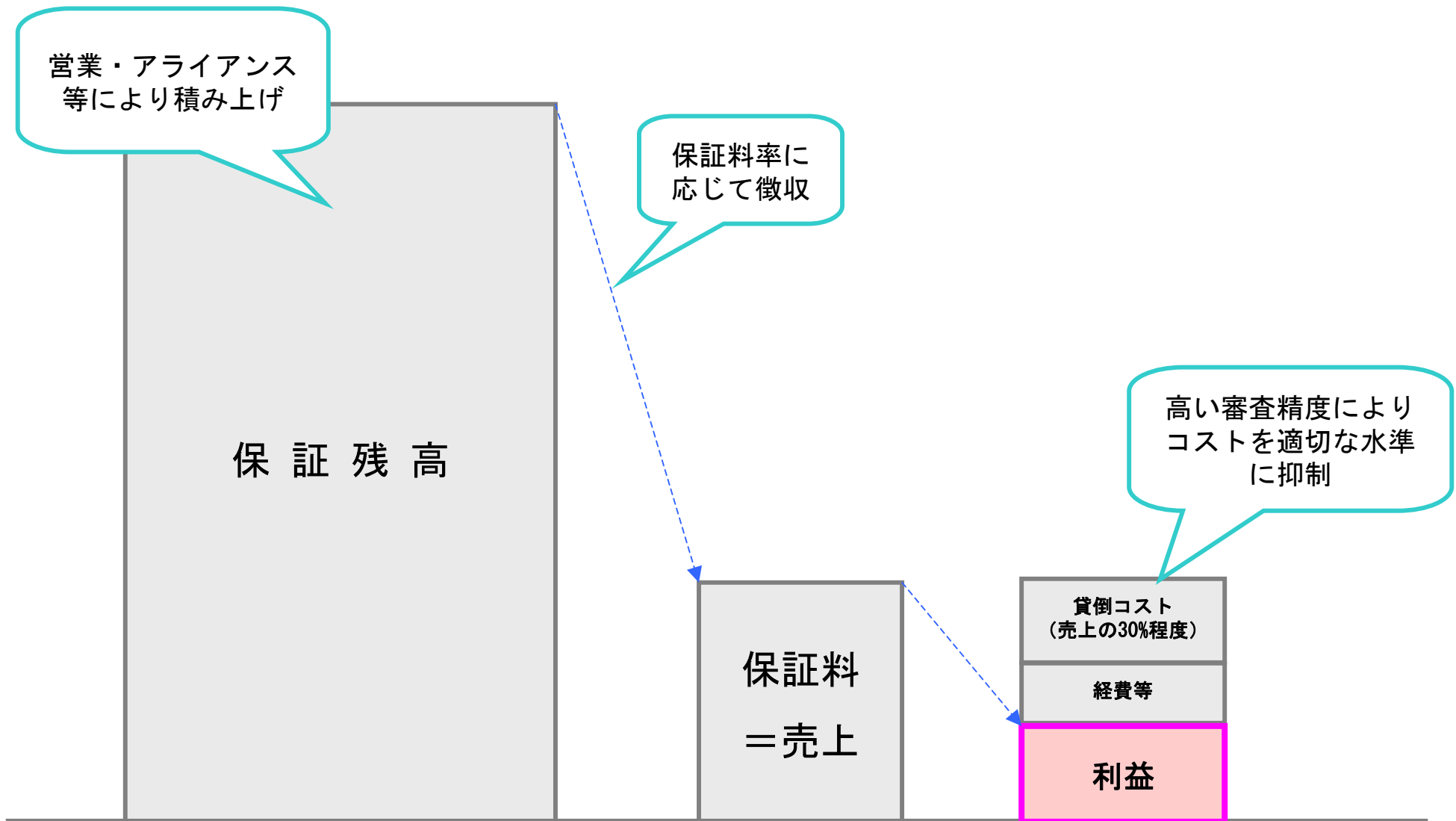
※取引発生の前に、あらかじめ保証契約を締結している事業会社の取引先の審査を行います。

# 『売掛債権保証事業』（参考）ビジネスモデル②

サービスを利用することで、取引先の与信リスクを気にせず取引を行うことが可能になります。



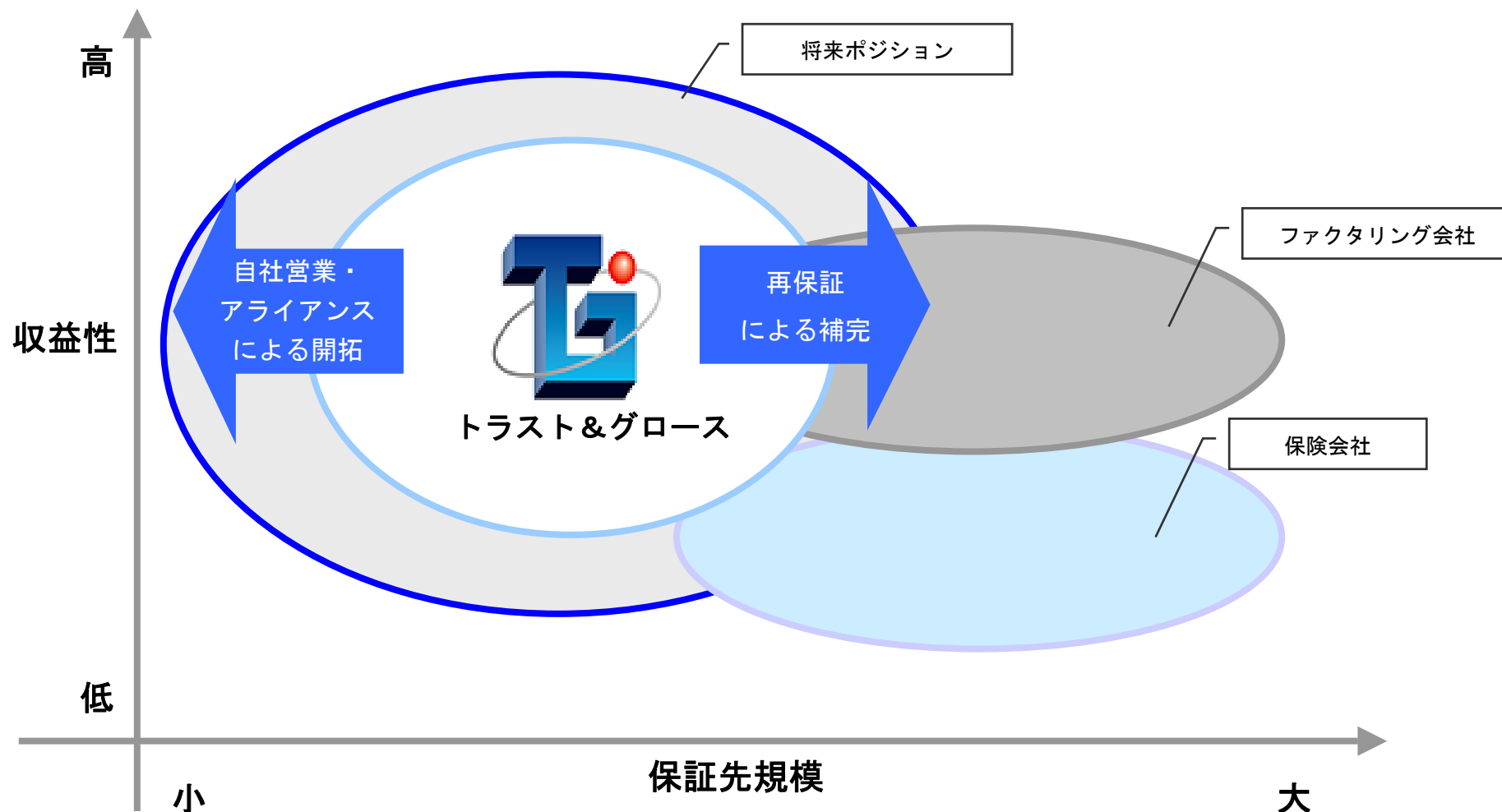
# 『売掛債権保証事業』（参考）収益構造





# 『売掛債権保証事業』（参考）ポジショニング

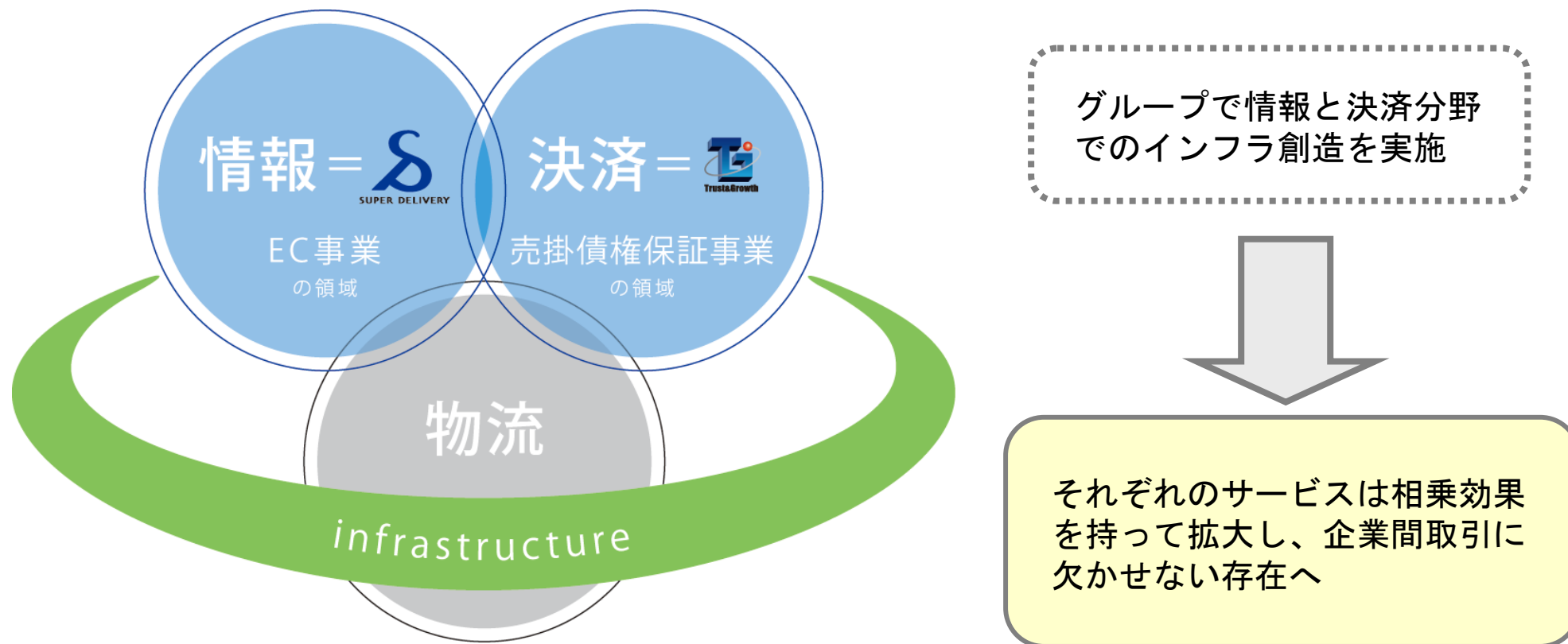
中小企業に対する売掛債権保証を強みとしていますが、①営業力強化、②与信ノウハウの継続的な蓄積、③リスク手法の確立によりマーケットポジションを拡大していきます。



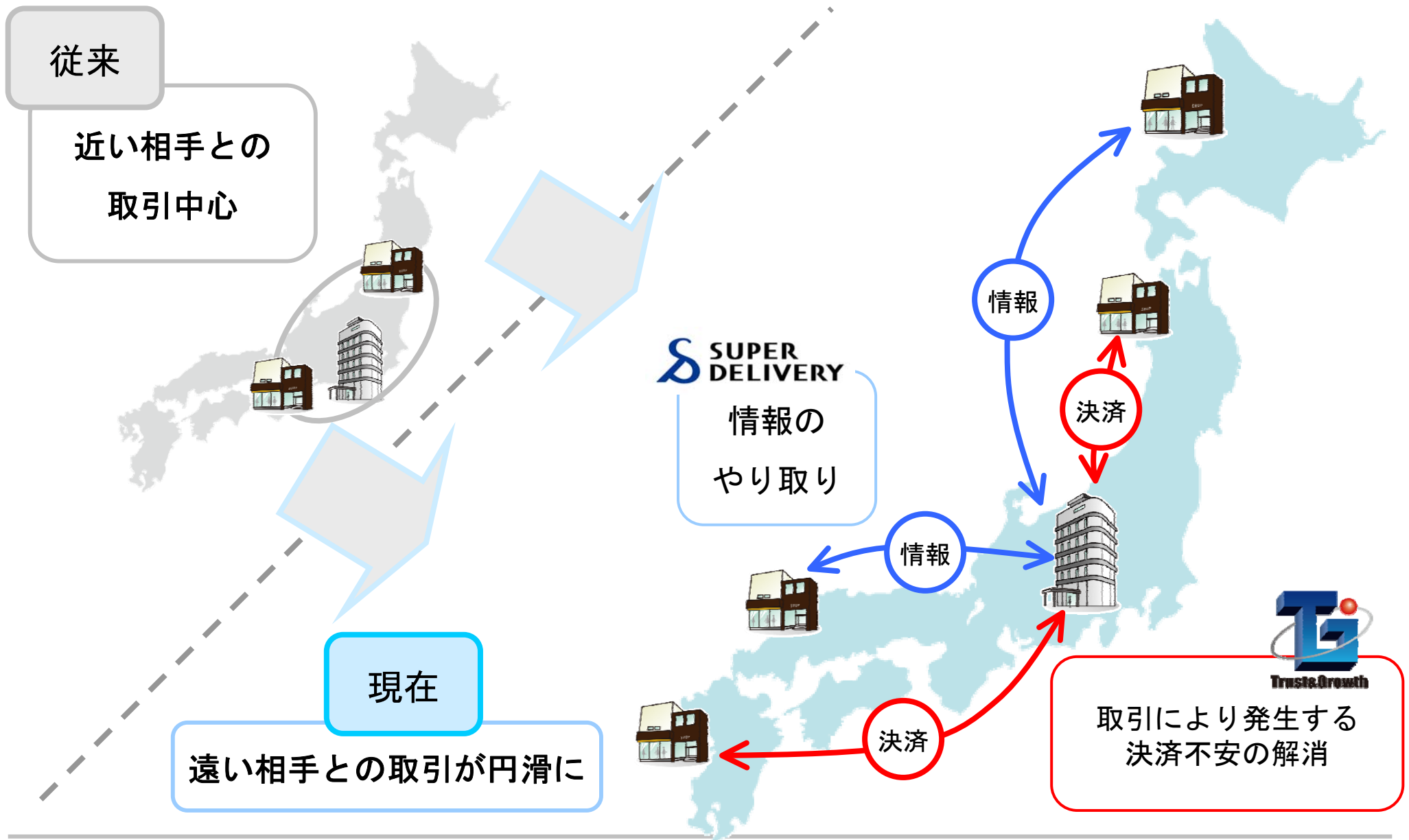
# 2012年4月期下半期以降について

「利便性・専門性・先進性を追及した今までにない企業間取引のインフラを創造する」ことをグループビジョンとして掲げ活動していきます。

■ 当社グループが考える企業間取引を行うために必要な機能



# 企業間取引のニーズ変化



## ターゲット別（小売店）のサービス提供に注力

約30種類の分類ごとの会員小売店ニーズにあったサービスを提供  
（小売店によって異なるサイトの見せ方、ニーズに合った企業の獲得）



客単価・購入率の向上

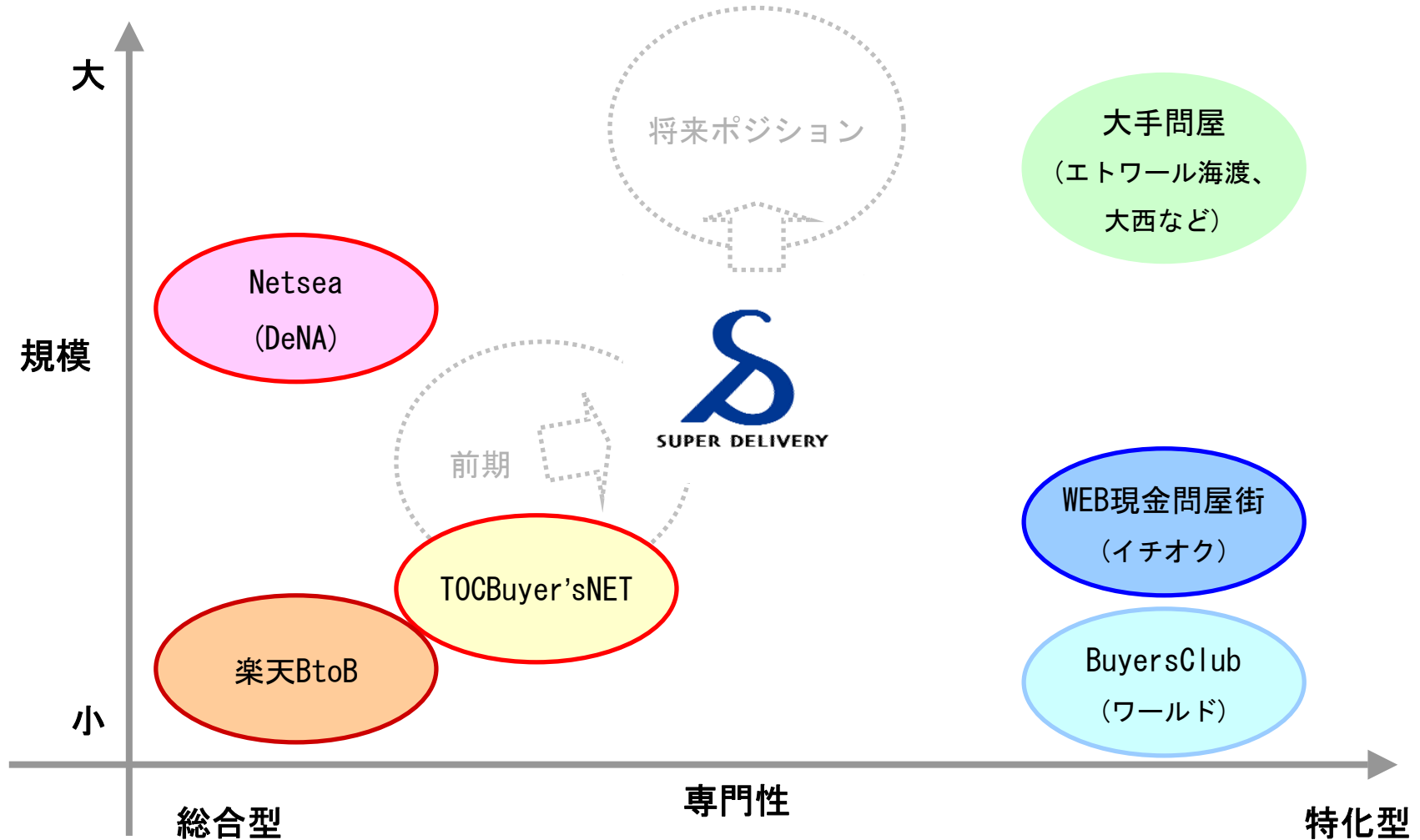
※引き続き客単価増加を実現すると共に、会員小売店数の増加との相乗効果により、商品売上高の増加を目指します。

## スマートフォン対応

スマートフォン利用者急増 → 「SUPER DELIVERY」をスマートフォン対応に。

# スーパーデリバリーのポジショニング

アパレル/雑貨の小売店にターゲットを集中。一定の専門領域で拡大を目指す。



## ◆大阪支社の開設

関西圏の営業基盤を拡大により、新規取引先を増加

## ◆代理店網の拡大

業務提携を積極的に行い、代理店網を増加し、営業基盤を拡大。

## ◆再保証の活用

再保証の活用により、リスクを抑えながら引き受ける保証金額の大幅引き上げが可能へ、営業基盤の拡大との相乗効果で保証残高を大幅増加

保証残高を拡大することで、保証料収入を増加させ事業拡大

Paid(ペイD)は企業間取引をシンプルかつスムーズにする後払い決済サービスです。



ユーザー登録

ログイン

お問い合わせ

TOP

サービス詳細

加盟企業一覧

加盟希望の企業様へ

## 道しるべ

Paidをご利用いただける企業の情報を提供し  
仕入れを充実させる「道しるべ」になります。



現在 **141社** での後払いが可能です！ [加盟企業一覧](#)

更新情報

11/04 アパレル7社・インテリア/雑貨2社、新たに加盟しました！  
11/24 Paidサービス、更新しました！

### ゆとりを手にする

初回の取引から後払いなので  
ゆとりを持った仕入れが可能です。

### スムーズに取引を始める

「支払いがPaidで」と伝えれば  
すぐに取引が始まります。

### 支払いを一本化する

仕入先が増えても、支払いが  
すべてPaidが代行します。

[会社概要](#)

[利用規約](#)

[プライバシー・ステートメント](#)

[サイトマップ](#)

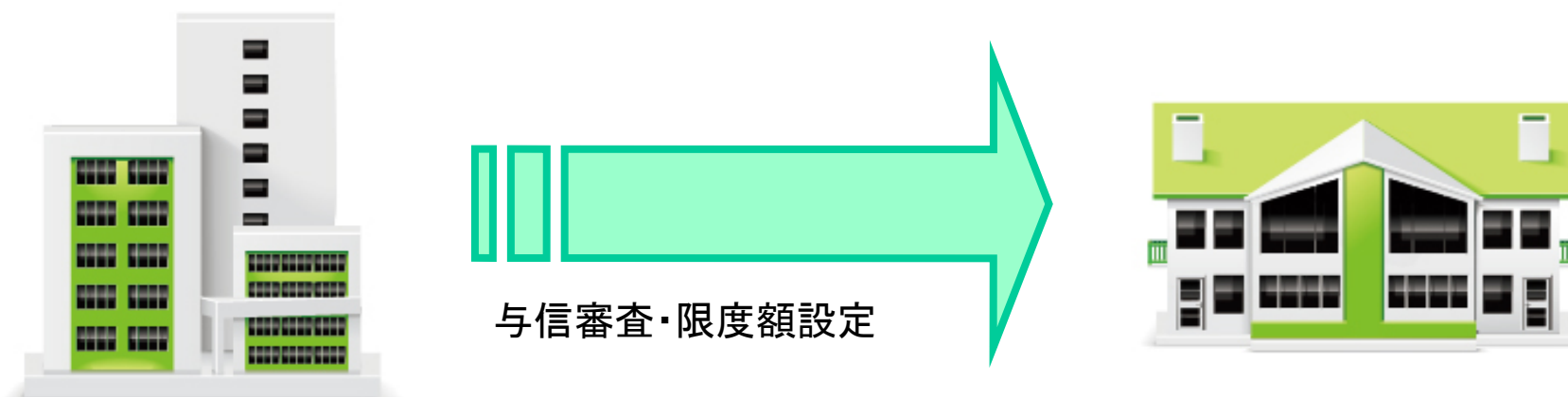
SUPER DELIVERY: 卸売・仕入れサイト「スーパーデリバリー」 show forum: 展示会情報を公開「展示会フォーラム」 T&G: 売掛金の課題解決「T&G売掛保証」

Copyright 2011 Raccoon Co., Ltd. All rights reserved.



インターネット等の活用により、情報・物流機能が発達し、企業間取引もスピーディーで利便性の高いサービスに進化していく一方で、決済については旧態依然とした機能のままでした。

## ●決済機能が足かせになる要因



後払決済(=掛売決済)が求められる一方で、後払決済は、各社で、独自に与信審査・限度額設定する必要があるため、全体として非効率となっていました。

# Païdにより解消される企業間取引の決済機能

Païdは企業間取引の決済を「1to1」→「NtoN」にすることで、スピーディーで便利な取引開始を可能にしたサービスです。



加えて、Païdを通すことで、回収漏れのない安心な取引が実現可能に。

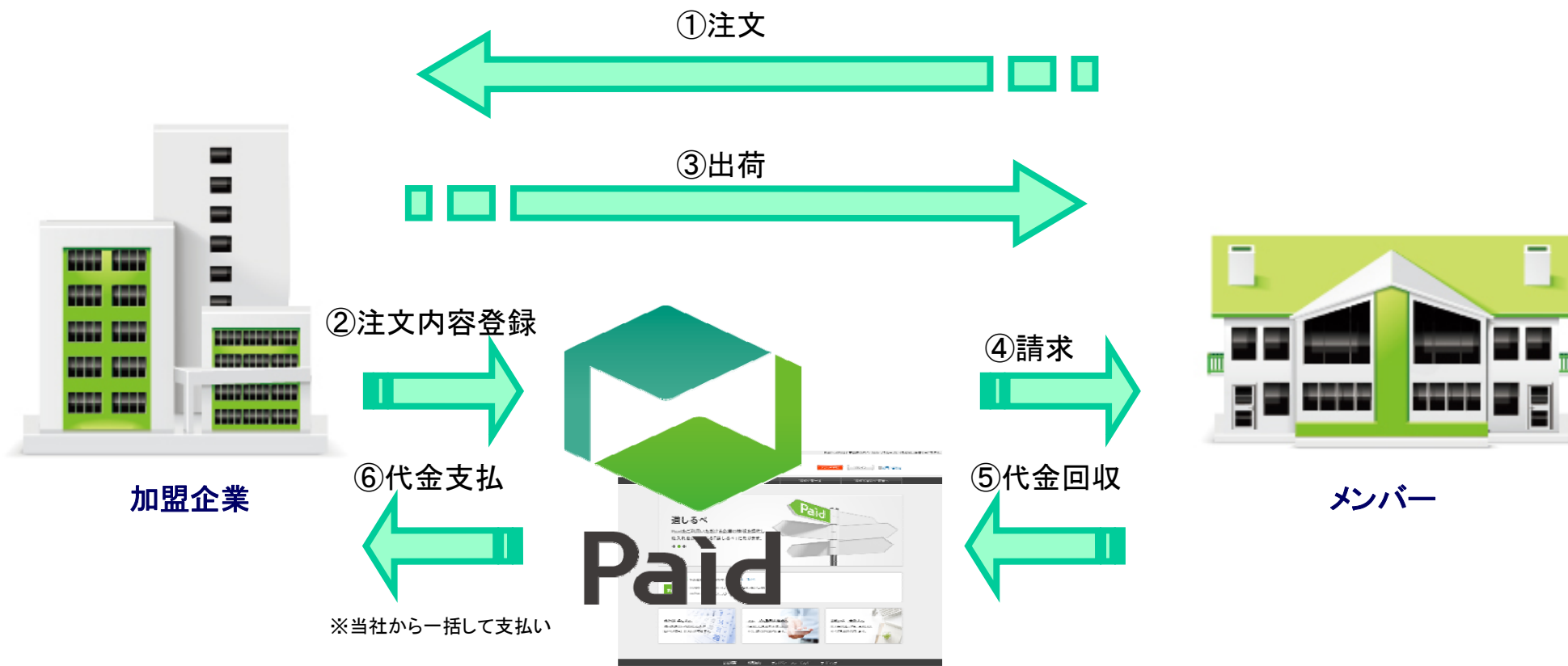
SUPERDELIVERYの会員小売店がPaidメンバーであることで、ある程度の数を確保しながらのサービス開始。



スタート時から、比較的活発な取引を可能に。

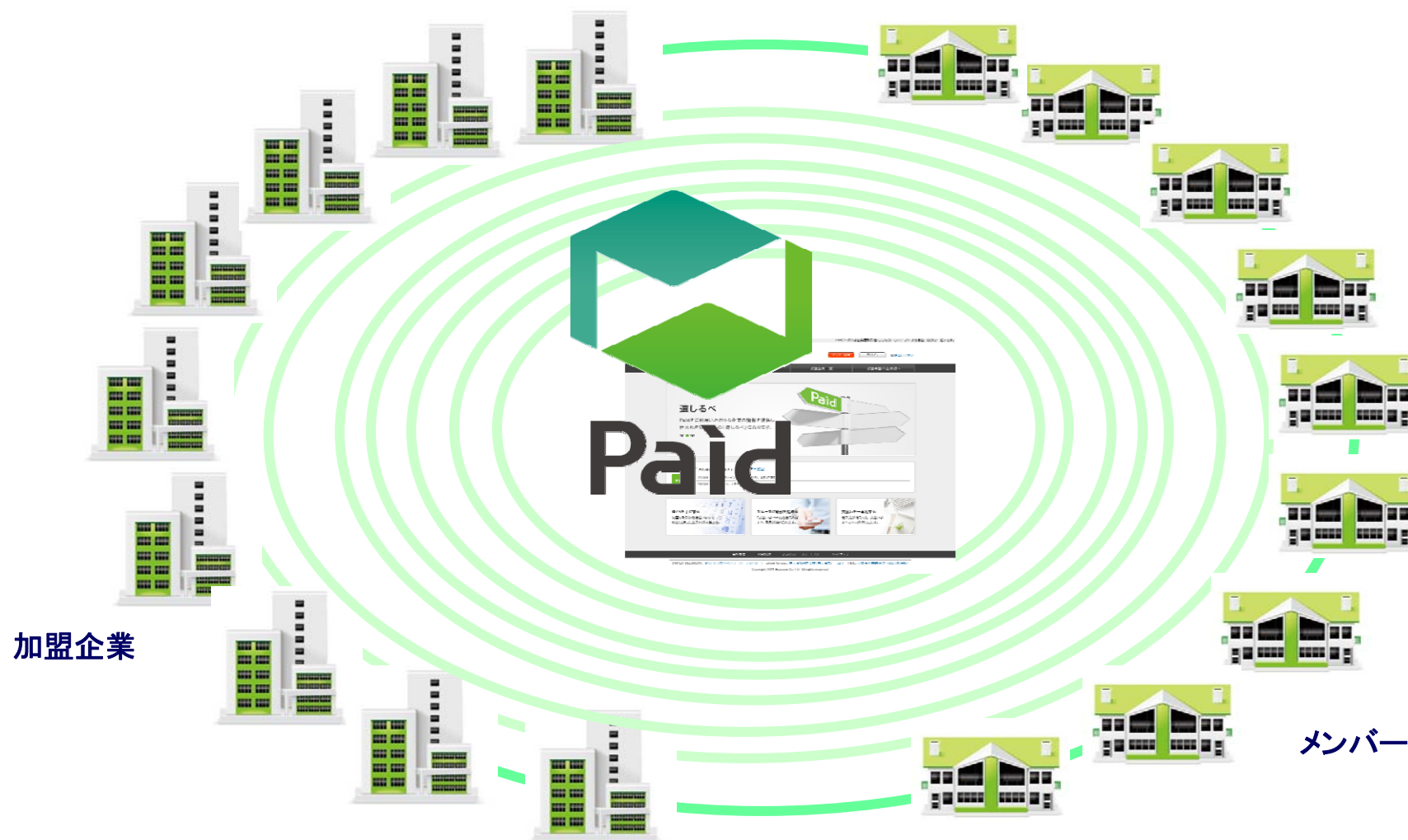
# Paidの仕組み

Paidは、インターネット完結型のBtoB後払い決済サービスです。



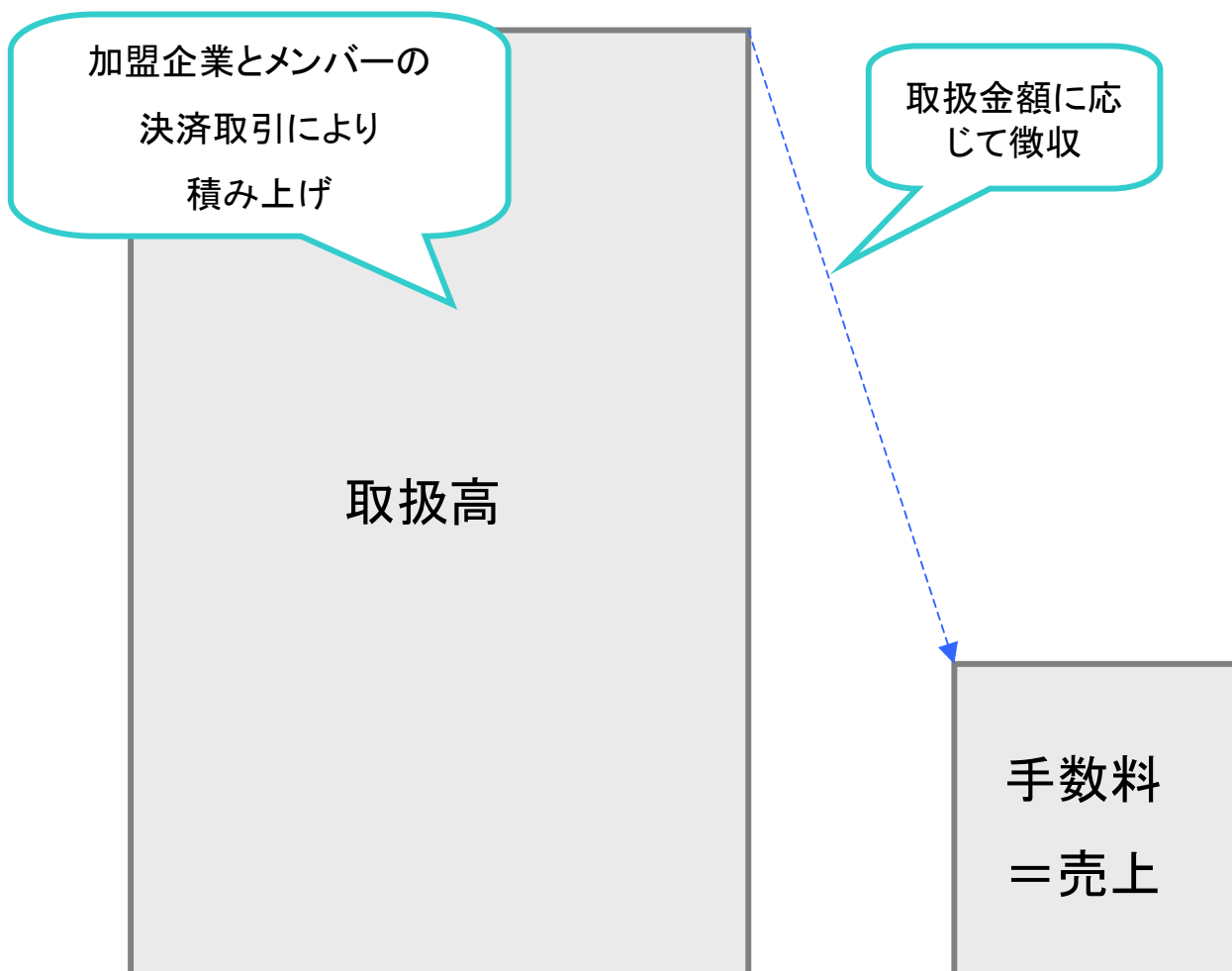
# 加盟企業、メンバーの増加により加速する利便性

加盟企業、メンバーが増加するほど、マーケット内の決済取引が活発に。



# 収益構造

Paid内での決済取引高に応じて手数料を徴収する仕組みです。



# 2012年4月期について

## 業績予想について

(単位：百万円)

	2012年4月期 (予想)	2011年4月期 (実績)	対前期比
売上高	8,300 ~8,600	8,057	3.0 ~6.7
営業利益	120 ~130	125	△4.2 ~3.7
経常利益	110 ~120	116	△5.8 ~2.7
当期純利益	77 ~84	160	△52.1 ~△47.7
1株当たり 当期純利益(円)	4,239.62円 ~4,625.04円	8,859.09円	△52.1 ~△47.7

### ●東日本大震災の影響について●

震災後大幅に低下した受注は、時間の経過とともに徐々に回復基調となっておりますが、今後の需要がどのように変動するのか現段階では不透明な状況であり、今期1年間の需要の変動の予測が難しい状況であります。

### ●開発中の新規事業による影響について●

当社グループの事業規模からすると比較的大規模の投資(販管費に56百万円の計上)を予想しております。なお、収益モデルやサービス開始時期等、具体的な部分については現段階で決まっておらず、売上等を織り込むのは難しい状況であります。

(注)株式分割後の数字を記載しております。